

東京科学大学 男子卓球部

第4部リーグ戦 戦評レポート

2025年9月20・21日

於 宇都宮大学体育館

文責：沖

2025年9月20・21日、宇都宮大学体育館にて関東学生卓球男子4部リーグが開催された。東京科学大学男子部は初戦から4連勝を重ね、最終戦まで唯一自力優勝の可能性を残す快進撃を見せた。しかし運命の茨城大学戦で1-3と敗れ、東京理科大学・茨城大学と4勝1敗で並びながら、直接対決の勝率比較により3位という悔しい結果に終わった。

■ 開幕ダッシュ：横浜国立大戦を制し好発進 リーグ初戦の横浜国立大学戦は、星野がフルゲームの熱戦を逆転勝ちで制すと、本坊も安定したカットで2番を連取。続くダブルスも本坊・小濱組が粘り強く勝ち切り、3戦全勝で勝負を決めた。吉田の試合は打ち切りとなったが、チームは盤石の滑り出しを見せた。

■ 東京理科大戦：主将小濱が殊勲の逆転勝利 第2戦は優勝候補の一角、東京理科大学との大一番。1番の星野は関口に敗れ先行を許すも、小濱が2番でフルゲームの激闘を逆転勝利で制し流れを戻した。ダブルスでは本坊・小濱組が勝負強さを発揮しフルゲームを奪取。続く小野寺も積極的な攻めでストレート勝ちし、3-1(4-1)で堂々の勝利を収めた。この一戦でチームの士気は一段と高まり、「科学大が昇格を狙える」と周囲に強く印象づけた。

■ 宇都宮大・群馬大戦：安定感抜群の布陣で4連勝 3戦目の宇都宮大戦では、三宅・本坊が連勝発進。ダブルスも3-0と圧倒し、危なげなく白星を積み重ねた。4戦目の群馬大戦でも三宅がフルゲームの惜敗を喫する場面はあったものの、本坊がカットで安定感を見せ快勝、小濱・本坊組のダブルスも圧巻のストレート勝ち。星野・小濱もそれぞれ勝利し、チームは堂々の開幕4連勝で最終戦に臨んだ。

■ 運命の最終戦・茨城大戦：自力優勝の夢、あと一步届かず 全勝同士で迎えた最終戦は、優勝を懸けた大一番。星野は第1試合で奮闘したが、相手の鈴木に押し切られ惜敗。本坊が続く2番でカットの安定感を発揮し勝利して踏みとどまる。しかし勝負の分かれ目となったダブルスで本坊・小濱組が鈴木の一撃に苦しみストレート負け。続く小濱も滝井に逆転負けを喫し、1-3で敗戦。ここで優勝の夢は絶たれた。

リーグ戦は東京科学大、茨城大、東京理科大が4勝1敗で並んだが、直接対決の勝率比較により1位・茨城大、2位・東京理科大、3位・東京科学大という順位に。最後まで首位を走りながら、あと一步届かずに涙を吞んだ。

■ それでも見せた確かな成長と手応え 今大会、チームは「星野・小濱・本坊」の軸を中心に、シングルス・ダブルスともに接戦を制する勝負強さを見せた。特に小濱のフルゲームでの勝負強さ、本坊のカットの安定感は光り、チームに安心感をもたらした。三宅や吉田も存在感を示し、総合力で4勝を積み重ねたことは大きな成果である。

惜しくも入替戦進出は逃したが、「昇格を狙えるチーム」へ確実に歩を進めていることは明白。次期リーグ戦に向け、さらなる成長と飛躍が期待される。

■ 女子部は10月4日入替戦へ なお、女子部は5部リーグを制し、10月4日・駒沢体育館で4部最下位との入替戦に挑む。男女ともに昇格を懸けた熱い戦いが続く東京科学大学卓球部。今後の健闘に大きな期待が寄せられる。

文責：沖